



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪③
養浩館庭園(福井市)
- P2 すこやか講座
「認知症と喫煙」
- P3 家族は今
「割り切れない私たちの想い」
- P4 THE病棟
「作品作り」
- P5 すこやか探検隊
「臨床栄養学臨地実習・
温冷配膳車導入」
- P6 トピックス
「RUN伴(ランとも)」
- P7 講演会のご案内・
専門職研修の講師紹介
- P8 平成29年度研修案内



すこやか講座

今回は認知症と喫煙について
ご紹介します

厚生労働省によると、2025年には認知症患者は700万人を突破すると言われています。これは、65歳以上の高齢者のうち5人に1人の計算になります。今回は、認知症にかかるリスクを減らすためのヒントについてご紹介します。

喫煙は認知症の発症を高める

世界保健機関WHOと国際アルツハイマー病協会（ADI）の冊子によると、喫煙者は非喫煙者より認知症を発症する危険性は45%高い、と示されています。

では、喫煙者はなぜ認知症になりやすいのでしょうか…？

喫煙者は、血管の収縮により高血圧になりやすく、**高血圧だと血管性認知症になるリスクが約10倍も高い**、というデータがあります。血管性認知症は、脳梗塞や脳出血など、慢性的な脳血流の低下などが原因でおこる認知症で、動脈硬化などの血管病変が大きな原因です。そのため喫煙者は必然的に認知症リスクも高くなります。

喫煙とアルツハイマー型認知症との直接的な因果関係は明らかにはなっておりませんが、「**非喫煙者より約2倍のリスクがある**」との報告もあります。

それらの調査では、禁煙すれば認知症リスクが下がる傾向がみられました。喫煙の継続は認知症リスクを上げるだけでなく、ガンや脳卒中、心筋梗塞等のリスクを高め健康寿命にも大きく影響してきます。たばこを吸っている人は今からでも禁煙しましょう。

喫煙以外にも認知症リスクを減らすヒントとしては、次のようなことが挙げられます。

★ウォーキングなどの定期的な運動習慣

→認知症発症リスク 45%減

★野菜豊富な和食 + 牛乳・乳製品の食事パターン

→認知症発症リスク 34%減

(九州大学久山町研究より)

家族は今…

割り切れない私たちの想い

I・S

祖父は家族思いで働き者。暇さえあれば田や畑に行っていました。曲がったことが大嫌いで、バカ正直な性格です。そんな祖父が認知症だと診断されたのは、10年程前でした。自分の異変に気づき、私たち家族のことを想ってか、自ら病院で診てもらいたいと言ってくれました。

こちらの病院に通院していた頃は、症状も軽く、私達は何も考えていませんでした。病院の先生には、薬を飲み始めたのが早かったから、症状の進行もほかの人より遅い方だと言っていました。その後、町内の病院で診てもらうようになりましたが、まだ症状は軽かったように思います。

徐々に認知症の症状が進んできたのは、ここ数年でしょうか。ご近所とのトラブルや、訳のわからない暴言、暴力がひどくなり、私たち家族の心労も増していきました。その後、家族環境の変化のせいか、急激に症状が悪化しました。去年の秋ごろから、だんだん歩くことが大変になり、自分で起き上がれないようになって、夜トイレに行くことも困難になってきました。

そんな時、祖母と当時のケアマネージャーさんが、専門的なこちらの病院でもう1度診てもらい、入院させてもらったらどうか？ということで受診したところ、入院することになったのです。とにかく急だったので、私たちだけでなく祖父も環境の変化についていけず、本当に不安な日々だったと思います。

今は入院して10カ月程経ちますが、面会のたびにひ孫の顔を見せると、「うら今が一番幸せや」と言って、涙を流しながら嬉しそうにしてくれます。本当は家で暮らしたいだろうにな…と思うと、心が痛みます。

こちらのスタッフの方たちは、祖父だけではなく、私たち家族にもとても親切・丁寧で、相談にも乗ってください、安心しています。ただ、祖父の気ままで短気な性格、周りの人とのトラブル、排泄など、ご迷惑をおかけしていること、心苦しく思っています。

家で暮らしたい祖父の思いを尊重したいのですが、家族で介護するのは現実的に無理があり、祖父に対して申し訳なく思います。今は退院後の入所先を探していますが、それまでの間、これからもよろしくお願いします。



The 病棟



作品作り

病棟では認知症の進行予防のために、入院されている患者様とスタッフが一緒になって作品作りをしています。このほど、何が作りたいかを患者様と話し合い、デイルームが明るくなるような飾りを作りました。今回はその一部をご紹介します。皆さん入院生活での良い気分転換になって楽しく参加されています。



皆さんで紙花を切って色を塗り、
大きな木が完成しました。



折り紙の小さな花を集め、
きれいな紫陽花を
咲かせました。



すこやか探検隊

仁愛大学の学生3名が、
10日間の実習に取り組みました！

＜管理栄養士 臨床栄養学臨地実習＞



仁愛大学人間生活学部健康栄養学科の4年生3名が、8月30日から9月12日まで当院において臨地実習に取り組みました。この実習では、認知症高齢者の方々の具体的な栄養管理方法や適切な業務を行うために必要とされる知識や技術等を学び、実際のデータから課題の発見・解決を通して、栄養管理計画書の作成やその評価を行いました。

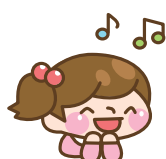
認知症患者特有の問題点を踏まえ、実際の現場訪問や患者様との会話も戸惑うことなくハキハキと…。困難な事例には苦戦しましたが、認知症専門病院での実習は多方面で学びが多くあったようです。



新しい温冷配膳車を導入しました！

当院では、このほど新しい温冷配膳車を導入しました。この温冷配膳車の庫内は、今までの温風式のものとは異なり自然対流式のため、食品の乾燥を抑えてより美味しい状態で患者様に配膳することが可能となりました。

また、トレイの色が親しみのあるブラウンになり、お膳の雰囲気ガラリと変わりました。



トピックス



ランとも「RUN伴」に参加しました!



★RUN伴とは…正式名称はRUN TOMO-RROW2017。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症の人もそうでない人も、皆でたすきをつないで、日本を縦断するプロジェクト。NPO法人「認知症フレンドシップクラブ」が2011年より毎年開催しています。

今年のRUN伴は、7月に北海道を出発しており、11月に沖縄に到着する予定です。福井県ではあわら市から高浜町まで結ぶコースが設定され、嶺北エリアでは9月23日(土)に開催されました。

当すこやかシルバー病院からも有志7名がランナーとして参加し、たすきをつなぎました。参加者はRUN伴公式のオレンジ色のTシャツも着用しました。



認知症カフェ心愛の前が中継ポイントとなっていました。カフェスタッフやメンバーもランナーに声援を送りました。

ここで参加者の名前が書かれたたすきに、自分たちの名前を書き加えて、出発!



RUN伴に参加しての感想

我々、すこやかシルバー病院有志チームは、初参加。それぞれの走力に応じてRUN伴を盛り上げるために頑張りました。中継ポイントでの応援・水分補給・メッセージをもらい、温かな気持ちで走ることができました。認知症カフェ心愛も中継ポイントになっており、日頃カフェで楽しむ方からの応援は心に響きました。

最終地点の福井駅では、各コースから参加された大勢の方とゴールテープを切ることができました。このゴールテープが終わりではなく、次へのバトンタッチだと感じることができました。

今回、楽しく温かな気持ちで走ることができたのは、参加者全員が同じ気持ちであったこと、そして、大会スタッフさん・当日の裏方さんの頑張りがあったからだと思います。本当にありがとうございました。来年もすこやかシルバー病院有志チームの一員として参加していきたいと思っています。

(谷口久良)



講演会のご案内

福井県立すこやかシルバー病院 講演会

「認知症予防のライフスタイルと 認知症になっても安心なまちづくり」

日時

平成29年**11月23日**(木・祝) **定員 400名**
13:30~15:30

会場

福井商工会議所ビル
コンベンションホール(地下1階)
[福井県福井市西木田2-8-1]

講師

群馬大学 名誉教授
認知症介護研究・研修東京センター センター長
山口 晴保 先生

講演
内容

- 認知症の本質理解
- 認知症予防 ~生活上の一工夫~
食事、運動、ストレス、睡眠等
- 脳活性化リハビリテーションで豊かな生活を
- 認知症になっても安心な地域

入場無料
事前申込を
お願い致します

申込
方法

①はがき

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上
〒910-3623 福井市島寺町93-6
福井県立すこやかシルバー病院
までお送りください。

②FAX

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上
FAX.0776-98-2793 までお送りください。

③電話 TEL.0776-98-2700

専門職研修の講師紹介 (認知症看護認定看護師)

当院で行われている専門職研修の一部は、当院の認知症看護認定看護師が講師を担当しております。今年度は、「認知症の進行段階別ケア」「アルツハイマー型認知症の症状とケア」「レビー小体型認知症の症状とケア」等の研修の講師を務めました。



認知症看護
認定看護師

和田 敏道

研修に来られている方には、BPSDなどの現象のみを捉えるのではなく、その人の困っていることの現状を理解してもらえるよう心がけています。



認知症看護
認定看護師

和田 博之

認知症高齢者の思いを大事に看護しているので、そのことを講義で伝えていきたいと思っています。



認知症看護
認定看護師

河合 明泰

認知症になってもできることは多々あります。認知症の人とその家族の思いを大切にし、認知症の人ができることを引き出せるケアを伝えていけたらと思っています。

【平成30年3月9日認知症高齢者ケア(アセスメント)講義予定】

平成29年度【11月～】 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

一般研修はお電話でお申込みできます。お名前（フルネーム、漢字）、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の基礎知識	12月5日(火)	13時30分～15時	● 認知症の原因疾患、症状、治療 ● 認知症診断に必要な情報	診療部長、医師 村田憲治	50名
認知症の基礎知識と介護のポイント	平成30年 3月2日(金)	13時30分～15時	● 認知症の症状 ● 認知症高齢者への介護のポイント	看護師 山神昭江	50名
認知症に関する制度と相談窓口	平成30年 3月6日(火)	13時30分～15時	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	精神保健福祉士 山田育弥	50名
認知症の方の食事援助、口腔ケア	平成30年 3月13日(火)	13時30分～15時	● 食事摂取困難な状況と介護 ● 口腔ケアの援助	介護福祉士 伊藤有香 介護福祉士 大味裕史	50名
認知症を予防しよう！	平成30年 3月14日(水)	13時30分～15時	● 心も体も元気に、健康に	作業療法士 内藤明美	50名
認知症の方の症状悪化の原因を考える	平成30年 3月30日(金)	13時30分～15時	● 認知症の方の症状悪化の原因として考えられるポイント	看護師長 帰山知子	50名

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

専門職研修の申込方法は、当院ホームページ「介護教育のご案内」をご参照のうえお申込みください。
定員を超える研修が多いため、当院ホームページで申し込み状況をご確認ください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症高齢者の徘徊に対する援助	11月1日(火)	9時30分～12時30分	● 認知症高齢者の徘徊に対する援助法	弘前大学保健学研究科 准教授 大津美香氏	70名
高齢者の排泄援助とスキンケア	11月7日(火)	13時30分～16時30分	● 高齢者の排泄援助とスキンケア	福井赤十字病院 皮膚排泄ケア認定看護師 上口美恵氏	50名
			● 認知症高齢者の排泄援助の実際	介護福祉士 谷本千恵子	
認知症介護家族に対する援助	11月8日(水)	13時20分～16時20分	● 認知症高齢者介護家族の身体的、精神的負担軽減のための支援	仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名
要介護施設従事者等による高齢者虐待防止	11月13日(月)	13時30分～16時30分	● 高齢者に対する要介護施設従事者の虐待内容、発生要因、未然防止、悪化防止	東北福祉大学総合福祉学部 講師 吉川悠貴氏	50名
認知症の方とのコミュニケーション	11月14日(火)	13時～15時	● 認知症の方と接する際に必要なコミュニケーション方法について	東北福祉大学総合福祉学部 講師 吉川悠貴氏	50名
認知症高齢者の入浴困難に対する援助	11月17日(金)	13時30分～16時30分	● 認知症高齢者の入浴困難に対する援助法	金城大学看護学部 教授 高山成子氏	70名
若年性認知症者と家族の思い	11月24日(金)	13時30分～16時30分	● 若年性認知症者と家族の抱えている困難や課題	日本赤十字看護大学 准教授 千葉京子氏	70名
精神症状への対応	11月28日(火)	14時～17時15分	● 精神症状に対する具体的な対応	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
高齢者のスキンケア	平成30年 3月1日(木)	13時30分～15時	● 高齢者の皮膚の特徴、スキンケア	福井県立病院 皮膚排泄ケア認定看護師 宮嶋仁美氏	50名
認知症高齢者ケア（アセスメント）	平成30年 3月9日(金)	13時30分～16時	● B P S Dの原因を探るためのアセスメントの視点	認知症看護認定看護師 河合明泰	70名
認知症の方とのコミュニケーション	平成30年 3月16日(金)	13時30分～15時20分	● 認知症の方と接する際に必要なコミュニケーション方法について	金城大学看護学部 講師 久米真代氏	70名
高齢者に起こりやすい認知症に類似する病態	平成30年 3月20日(火)	13時30分～15時10分	● うつ状態、せん妄、てんかん、妄想性障害の症状、治療	診療部長、医師 村田憲治	70名
高齢者の食事援助	平成30年 3月23日(金)	13時30分～16時	● 高齢者の食事援助のポイント	福井県立病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 高澤法子氏	50名
認知症の症状を評価するための心理検査	平成30年 3月27日(火)	13時30分～16時30分	● 認知症の症状を評価するための心理検査の使用目的、特徴	臨床心理士 平木聡深	70名
精神症状への対応	平成30年 3月28日(水)	14時～17時15分	● 精神症状に対する具体的な対応	福井県立病院 精神看護専門看護師 山口達也氏	70名

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700